

茨城県信用保証協会

[法人の概要]

平成16年7月1日現在

代表者名	会長 小瀬 信一 (常勤)	所管部(局)課	商工労働部 産業政策課	
所在地	水戸市桜川2-2-35 県産業会館内	電話番号	029 - 224 - 7811	
ホームページURL	http://www9.ocn.ne.jp/~ibasinpo/	E-mailアドレス	icg2235a@abeam.ocn.ne.jp	
資本金(基本財産)	23,160,817 千円	設立年月日	昭和24年12月4日	
主な出資者	出資順位	出資者名	出資額	出資比率
	1	基金準備金(自己造成分)	14,007,533 千円	60.5 %
	2	茨城県	4,964,830 千円	21.4 %
	3	常陽銀行	680,324 千円	2.9 %
	4	茨城県信用組合	477,500 千円	2.1 %
	5	関東つくば銀行	293,229 千円	1.3 %
その他	131 団体	2,737,400 千円	11.8 %	
設立的	<p>事業の維持、創造発展に努める中小企業者に対して、公的機関として、その将来性と経営手腕を適正に評価することにより、企業の信用を創造し、「信用保証」を通じて、金融の円滑化を図ることを目的としている。</p> <p>中小企業金融対策における信用保証協会の機能拡大とその役割が拡充強化される中で、充分な機能発揮の裏づけとなる基本財産等の充実のため、県・市町村・金融機関から財政支援を受け、さらには緊密な連携を取りながら中小企業の経営基盤の強化に寄与し、もって中小企業の振興と地域経済の活力ある発展に貢献している。</p>			

[事業の概要]

事業名	平成16年度事業費	内容
事業1 信用保証	4,842,474 千円	中小企業者等が銀行その他の金融機関から資金の貸付、手形の割引または給付を受けること等により金融機関に対して負担する債務の保証及びこれに付随する業務。 信用保証協会が公的な保証人になることにより、中小企業者に対する金融の円滑化を図り、県内中小企業者の育成・発展と、県内経済の成長発展に貢献している。
事業2	千円	
事業3	千円	

[組織]

7月1日現在の人数	平成14年			平成15年			平成16年			
	県派遣	県OB		県派遣	県OB		県派遣	県OB		
役員	常勤理事	4	0	2	4	0	2	4	0	2
	非常勤理事	11	0	0	11	0	0	11	0	0
	常勤監事	0	0	0	0	0	0	1	0	0
	非常勤監事	4	0	0	4	0	0	3	0	0
	計	19	0	2	19	0	2	19	0	2
職員	管理職	34	0	0	32	0	0	33	0	0
	一般職	63	0	0	66	0	0	61	0	0
	臨時職員	11	0	0	8	0	0	8	0	0
	嘱託職員	6	0	0	13	0	0	16	0	0
	計	114	0	0	119	0	0	118	0	0
当期常勤職員の年齢構成	20代以下	30代	40代	50代以上	合計	平均年齢	平均勤続年数			
	25	17	24	28	94	41歳 1月	19年 1月			

[収支の状況]

茨城県信用保証協会

(単位:千円)

区 分		平成13年度	平成14年度	平成15年度
収 支 の 状 況	収入合計	30,817,323	33,714,895	29,861,611
	事業収入	6,973,973	6,479,040	6,879,694
	事業外収入	23,843,351	27,235,855	22,981,916
	支出合計	30,786,812	33,682,779	29,819,878
	事業支出	3,955,693	3,941,987	4,157,925
	事業外支出	26,831,119	29,740,791	25,661,953
	うち管理費	1,550,299	1,570,145	1,585,487
	うち人件費	1,094,999	1,067,240	1,007,990
	当期収支差額	30,512	32,117	41,733
	正味財産増加額	182,144	289,250	321,917
	正味財産減少額	610,412	985,764	977,833
	当期正味財産増減額	-397,757	-664,397	-614,183
	前期繰越正味財産	30,690,153	30,292,397	29,628,000
期末正味財産	30,292,397	29,628,000	29,013,817	
財 産 の 状 況	資産	779,420,932	725,783,248	722,552,015
	流動資産	47,871,947	47,946,929	49,705,366
	固定資産	731,548,985	677,836,319	672,846,649
	負債	749,128,535	696,155,248	693,538,197
	流動負債	0	0	0
	うち短期借入金	0	0	0
	固定負債	749,128,535	696,155,248	693,538,197
	うち長期借入金	8,285,000	9,102,000	9,191,000
	正味財産	30,292,397	29,628,000	29,013,818

[財的関与の状況]

(単位:千円)

区 分		平成13年度	平成14年度	平成15年度
財 的 関 与 状 況	補助金	0	6,000	0
	委託金	0	0	0
	貸付金	0	0	0
	計	0	6,000	0
	財政的関与の割合(%)	0%	0%	0%
	損失補償・債務保証	4,187,832	4,469,325	4,773,259

[平成15年度の補助金等の目的・内容等]

支 出 項 目	目 的 ・ 内 容 ・ 効 果
補助金	
委託金	
貸付金	

[評点集計]

評価の視点	評価項目数	評点	満点	得点率
計画性	4	8	8	100.0%
目的適合性	5	11	14	78.6%
組織運営の適正性	4	6	8	75.0%
健全性	11	18	40	45.0%
効率性	8	0	28	0.0%
合計	32	43	98	43.9%

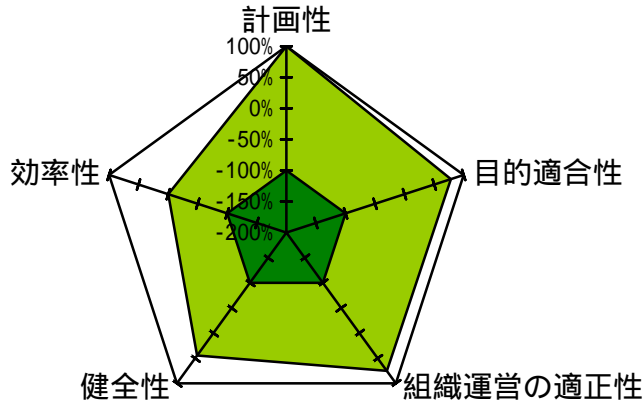
公益法人会計用

茨城県信用保証協会

警戒指標

--

経営評価レーダーチャート



(評価の視点)

計画性	経営目的、経営方針が各種計画に反映され、計画・実行・見直しが行われているか
目的適合性	法人が行っている事業と当初の設立目的が適合しているか
組織運営の適正性	組織、人事、財務等の内部管理体制が適切に整備・運用され、かつ情報公開による透明性の確保が適切か
健全性	法人の財務体質が健全であるか、また、各事業の採算性がとれているか
効率性	組織の管理運営上における人的・物的な経営資源が有効活用されているか

各評価項目については、「出資法人等経営評価指標及び評価基準等」を参照

[総合評価]

取組みを強化すべき視点	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">計画性</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">目的適合性</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">組織運営の適正性</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">健全性</div> <div style="border: 2px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">効率性</div> </div>
総合的所見等	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 2px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">概ね良好</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">改善の余地がある</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">緊急の改善措置が必要</div> </div> <p>保証制度等のわかりやすい情報提供や保証先について一層の情報収集に努め、迅速かつ積極的な保証を推進し、引き続き中小企業金融の円滑化に寄与されたい。 なお、代位弁済額は依然として高水準にあることから、求償権の回収に効率的かつ積極的に取り組まされたい。</p>

総合的所見等に係る対応	<p>中小企業にとって有利な制度は積極的にPRしており、情報提供誌「ぎやらんてい」の購読会員も増加している。また、金融機関との提携保証も積極的に推進しており中小企業金融の円滑化に寄与している。債権回収については、代位弁済が引き続き高水準にある中で、担保不動産の任意処分や継続的な交渉に努めるなど求償権の効率的な回収に取り込んでいる。県としてもこれらの体制を維持拡大するためにも、基本財産の造成を図るとともに、適正な運営を行うための組織の整備など経営基盤の確立に努めている。</p>
-------------	--

< 茨城県信用保証協会 から県民のみなさまへ >

県内の経済は厳しい中にありますが、当協会としては、中小企業の資金需要に対して日本中で一番スムーズな対応を図っており、かつ、設備資金の投資額に対する保証枠も日本一を誇っております。これからも私たちは金融機関とのリレーションシップを尊重して、中小企業の経営躍進のために共に汗して頑張っております。

平成17年2月

茨城県信用保証協会
会長 小瀬 信一

[法人の自己評価(経営概況, 経営上の課題, 対策等)]

計画性	目的適合性	組織運営の適正性	健全性	効率性
保証計画は経済環境等の外的要因に左右されるため、多少の相違が生じることもあるが、中小企業にとって有利な制度はPRをするとともに、金融機関への働きかけもしている。 回収計画については、計画通りでない場合逐次協議し、具体策を実行している。 年次計画は、漏れのないように四半期毎にチェックしている。	当協会は、信用保証機能をもって中小企業金融の円滑化を図ることによって、国内事業所の99%以上を占める中小企業者の健全な育成という役割を果たす使命を担っている。 現に、当協会を利用している企業は県内中小企業の3分の1を占め、十分に機能を発揮している。	効率的な運営に心掛け、増大する業務に対処している。 情報公開規定は、いざれ作成したいと考えている。	当協会の経常収入は、主に保証料収入及び自己資金の運用益であるが、昨今の超低金利により、運用収入は減少傾向にある。 このような中で、運用収入を少しでも上げるため、専門の部署が安全かつ有利な金融商品の情報収集に努めている。	厳しい経営環境を乗り切るため、職員給与のカットや計画的な職員数の削減等、人件費削減を断行している。 また、予算と比較しながら毎月無駄な出費をチェックし、管理費削減に努めている。
今後の事業展開の方向	<p>景気は大企業の製造業を中心とした回復が顕著に見られ、企業間信用の額も増加に転じ大分明るい兆しが見えてきているが、この景気回復の動きをより一層確かなものにするためには、回復の遅れが指摘されている中小企業の活性化が望まれるところである。</p> <p>このような中、代位弁済は依然として高位にあり、1,100億円を超える求償債権の回収は、不動産担保の価値の減少並びに国が政策的に第三者保証人を徴求しない方向にあるためますます保証人からの回収は難しく、厳しい状況にある。</p> <p>一方、保証は順調な伸びを示し、保証料収入はあるものの、相変わらずの超低金利下での運用益収入は低く、協会経営は横這いの状態である。</p> <p>このため、職員の人件費を抑えるべく給与のカット・職員数の削減を計画的に行っている。</p> <p>中小企業の育成については、売掛債権担保保証や借換保証制度、さらには金融機関との提携保証を有効に活用し、企業の活性化並びに再生に努力している。</p> <p>また、企業の再生に積極的に対処するため、新たに「企業支援室」を設けた。</p> <p>当協会としては、中小企業との一層のリレーションシップづくりのため、保証課においては企業担当制を敷き、中小企業の代表者と直接面談や企業訪問を通じて充実したコミュニケーションが図れる体制を固めた。</p> <p>また、企業への情報提供をより緊密なものとするため、広報誌「ぎゃらんてい」の購読をさらに広めるとともに、役職員での編集会議を充実させ、中小企業にとって価値あるものにしていく。</p>			

[法人を担当する課の意見]

計画性	目的適合性	組織運営の適正性	健全性	効率性
年次計画はもとより、中・長期的な計画を策定したうえで信用保証業務を推進している。	中小企業の信用を補完する機関として、積極的に保証需要に対応し、中小企業の金融円滑化に寄与した。 また、制度PRにも積極的に努めている。	回収の促進や適正な保証審査を行うための組織を整備するなど、状況に応じた組織運営をしている。	代位弁済が高水準で推移するなか、金融機関からの支援も受けて求償権回収を積極的に行っている。	人件費削減のため計画的に職員数を削減するなど経費削減に取り組んでいる。また、金融機関との連携により迅速な保証を行っている。
第三次行財政改革大綱に係る取組状況	推進事項 該当なし		取組み状況 該当なし	
法人担当課の意見	<p>県内の企業倒産が高水準で推移するなか代位弁済も依然として高位にあるが、効率的な求償権回収に努めており、回収額も増加している。</p> <p>また、金融機関と連携した提携保証に積極的に取り組むなど適正・迅速な保証を推進している。</p> <p>さらに、人件費を抑制するなど経費削減に取り組む効率的な経営に努めている。</p>			